【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【公表番号】特表2020-515392(P2020-515392A)
【公表日】令和2年5月28日(2020.5.28)
【年通号数】公開・登録公報2020-021
【出願番号】特願2019-553319(P2019-553319)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　19/00　　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　37/00　　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　35/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　19/00　　３２１
Ｇ０１Ｎ　37/00　　１０１
Ｇ０１Ｎ　35/08　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和3年3月25日(2021.3.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
流体の流れを、小さい方の流体プラグから幅の広い方の流体プラグに分配するための分配器（１００）であって、流入口（１１０）および複数の流出口（１２０）と、前記流入口（１１０）と前記複数の流出口（１２０）の間の流路構造（１３０）と、を備え、前記流路構造（１３０）は、交互分岐流路下部構造（１３２）と、共通流路下部構造（１３４）と、を備え、前記下部構造（１３２、１３４）は、分岐流路下部構造（１３２）とは異なる流路を出る流体が、後続の共通流路下部構造（１３４）内で混合するように配置されることにより、前記分岐流路下部構造（１３２）の流路は、端部で前記後続の共通流路下部構造（１３４）に接触しないように配置され、前記共通流路下部構造（１３４）は、長軸が前記構造のネット順方向の流れに略垂直であり、前記共通流路下部構造（１３４）の端部は、前記長軸の終点に対応している、分配器（１００）。
【請求項２】
少なくとも１つの共通流路下部構造（１３４）は、相互に離間して配置される複数の柱要素で満たされる共通流路を備える、請求項１に記載の分配器（１００）。
【請求項３】
少なくとも１つの共通流路内の前記複数の柱要素は、偶数列に整列する柱要素であり、ｎ列ごとの異なる柱間要素空間の中心線の半径方向の位置が、先の分岐する流路の出口と一致する一方、ｎ－１列ごとの異なる柱間要素空間の中心線の半径方向の位置が、次の列の柱の中心線と一致する、請求項２に記載の分配器（１００）。
【請求項４】
前記各共通流路下部構造（１３２）は、相互に離間して配置される複数の柱要素で満たされている、請求項２または３に記載の分配器（１００）。
【請求項５】
各共通流路について、前記柱要素が、偶数ｎ列に整列し、ｎ列ごとの異なる柱間要素空間の中心線の半径方向の位置が、先の分岐する流路の出口と一致する一方、ｎ－１列ごと

の異なる柱間要素空間の中心線の半径方向の位置が、次の列の柱の中心線と一致する、請求項４に記載の分配器（１００）。
【請求項６】
前記入口（１１０）付近の共通流路下部構造（１３４）内の柱要素の列の数が、前記出口（１２０）付近の共通流路下部構造（１３４）内の柱要素の列の数よりも多い、請求項５に記載の分配器（１００）。
【請求項７】
前記柱構造が、矩形、ひし形、または楕円形である、請求項２～６のいずれか一項に記載の分配器（１００）。
【請求項８】
前記共通流路下部構造（１３４）の共通流路内には柱構造が存在しない、請求項１に記載の分配器（１００）。
【請求項９】
流体出力の数は（２ｍ）であり、ｍは自然数である、請求項１～８のいずれか１項に記載の分配器（１００）。
【請求項１０】
請求項１～９のいずれか１項に記載の分配器（１００）を備える、ミクロ流体構造。
【請求項１１】
クロマトグラフィシステムの分離構造である、請求項１０に記載のミクロ流体構造。
【請求項１２】
請求項１０または１１に記載のミクロ流体構造を備える、クロマトグラフィシステム。
【請求項１３】
請求項１～９のいずれか一項に記載の流れ分配器（１００）、または請求項１０もしくは１１に記載のミクロ流体構造を備える、化学反応器。